

「ENEOS防災週間」における取り組みについて

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は今年から新たに8月30日から9月5日を「ENEOS防災週間」に設定し、同週間における本年度の活動を下記のとおり実施いたしましたのでお知らせします。

「ENEOS防災週間」は当社社員の防災に関する意識の高揚と知識の向上を図るとともに、対策内容に沿った訓練を行うことを目的に設定されたものです。

当社は国民生活・経済にとって不可欠な石油製品等を供給する事業者として、また広く社会に貢献する事業者として、大規模災害時にも製品の供給を継続し、企業の社会的責任を果たしてまいります。

記

1. 首都直下型地震を想定した初期対応訓練

(1) 日時: 9月1日(金)午後1時から同3時

(2) 内容: 首都圏で震度6強の大地震が発生したとの想定のもと、本社に災害対策本部を設置し、首都圏に所在する事業所等との緊急連絡および本部内の情報整理・共有化等の災害対策本部の初期対応を行いました。この訓練にはバックアップオフィスである東北支店を含め約80名が参加しました。また、社員の安否を確認する訓練も併せて実施しました。



訓練時に情報収集を行う災害対策本部員



災害対策本部員から報告を受ける当社社長 西尾進路

2. 徒歩駆付け訓練

(1) 日時: 9月2日(土)午前8時から同11時

(2) 内容: 公共交通機関の運行停止を想定し、災害対策本部員約150名が自宅から新橋本社までを徒歩で出社する訓練を実施しました。



地図によって歩行経路を確認し、訓練を行う災害対策本部員



以上